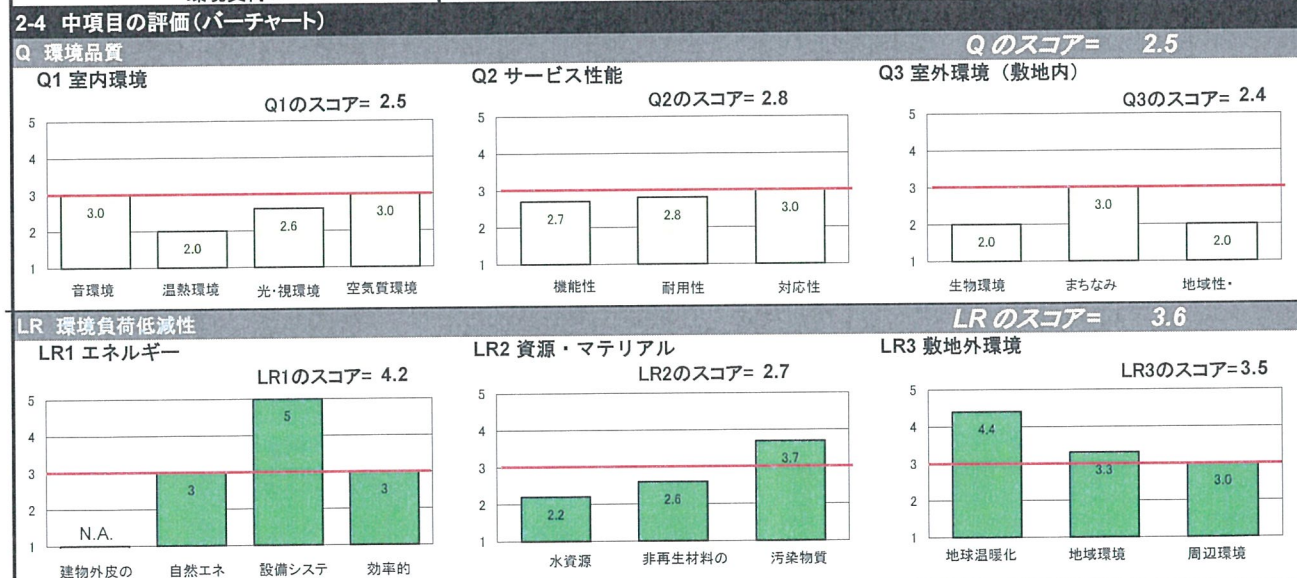
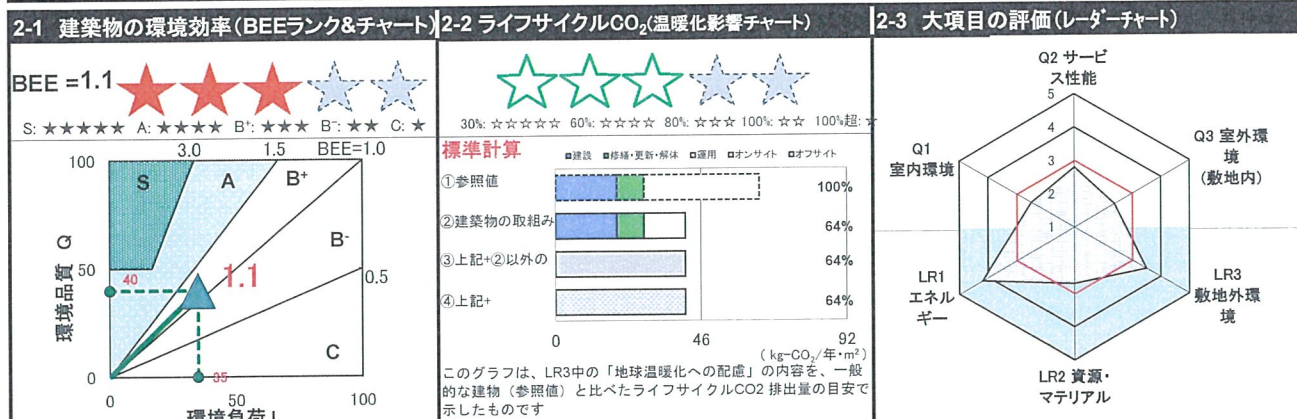
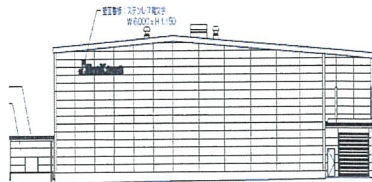


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	廣川マテリアル株式会社 鳥取倉吉	階数	地上2F	
建設地	鳥取県倉吉市秋喜字院403-3, 403-4	構造	S造	
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	375 人	
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2021年4月1日	
敷地面積	11,958 m ²	作成者	北谷 幸一	
建築面積	3,155 m ²	確認日	2021年4月6日	
延床面積	3,758 m ²	確認者	廣川 信也	



3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.9m以上。 [壁長さ比率] < 0.1。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー [BEIm] = 0.36。	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物(参照値)に対して64%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される